

「総ぐるみ」新聞

今年最後の電話でもう一度来てほしいかも

昨年七月にNPOを立ち上げ、同年十一月から介護事業をはじめてからあつと一週間に一年が経ってしまいました。毎日、苦勞の連続でしたが、幸い利用して下さる方もヘルパーさんも良い方ばかり、お陰様で「NPO 総ぐるみ福祉の会」もなんとか軌道に乗ってきました。

来年は、さらに活動を充実させ、地域の皆様から少しでも「役立つているよ」とおっしゃっていただけるように努力していくつもりです。どうぞ温かい目で見守り、「ご支援くださいますようお願い申し上げます。

理事長 宮崎浩子

NPO総ぐるみ福祉の会にご寄付をいただいた方
佐藤千春様、小室満子様、山田康子様、長田茂雄様、
木村清様、小泉宗信様、一柳芳子様、椿満男様、藤
井香代様、宇根岡操様、若山君代様 (順不同)
ありがとうございました。NPO総ぐるみ福祉の会では、来年も皆様からのご寄付をお願いしています。

盛会だった「お食事会と討論会」
11月3日に開催した「お食事会と討論会」にご出席ありがとうございました。お食事を作ってくださったボランティアの皆様お礼申し上げます。また、新しい企画を考えていますので、ご期待ください。

ミニニュース

このほど日本財団から、当会に対して福祉車両1台が助成されました。増澤理事宅に駐車中です。

NPO総ぐるみ福祉の会 事務所は日限山4-44-23の宮崎宅です。入会や活動等については、宮崎浩子(844-7477)、増澤善一郎(844-9084)、笠原松次(844-6266)、菅沼永子(844-9199)、米川満寿子(844-1943)、菊地幸子(844-4866)にお問い合わせください。

お宅の階段やお風呂場に手すりが付いていますか？

皆様が、「自宅をお建てになったのは三〇〜四〇歳の頃、老後のことまで考えて、設計にあたった方は少ないのではないしょうか。しかし、歳をとってくると、階段を下りるときや入浴の際に、知らず知らずのうちに壁に手をつくことが多くなってきます。

そういう兆候が現れたときは、転倒の危険性があるということ。安全対策が必要です。そのため、最近、住宅内の段差を解消したり手すりを設けたりするバリアフリー改修工事をするお宅が増えてきています。

手すりをつけるなどの小規模工事なら、介護保険で原則二〇万円(自己負担一割)を限度に給付金を受けられる制度があります。

ただし、この制度の適用を受けるためには、要介護の申請などを受ける必要があります。NPO総ぐるみ福祉の会では、その申請のお手伝いをしてあります。

また、工事のご斡旋から工事給付金の申請まで、バリアフリー改修のご相談いっさいを、理事の中 康行(なか やすゆき)が担当しています。ご希望の方は、844-760へお気軽にお申し付けください。

「NPO総ぐるみ福祉の会」では、ヘルパーさんと運転手ボランティアをやっていただける方を募集しています。ご希望の方は、宮崎(TEL844-7477)へ、ご連絡ください。